

岩盤ボーリング柱状図

調査名 主要地方道 東城西城線 測量設計地質調査業務委託 (道路改良・単独)

事業・工事名

調査目的及び調査対象 道路 橋梁・高架

ボーリング名	B-1		調査位置	広島県庄原市東城町保田		北緯	34° 55' 49.0064"			
発注機関	広島県北部建設事務所 庄原支所			調査期間	令和5年 8月 9日～ 令和5年 8月18日		東経	133° 10' 43.8830"		
調査業者名				主任技師			現場代理人			
コア鑑定者				ボーリング責任者						
孔口標高	TP 562.39m	角			方			地盤勾配	33° 水平 0° 鉛直 90°	
総削孔長	9.00m	度			使用試験機	東邦DD		エンジン	ヤンマー-NFD10	
					ポンプ	東邦BG-3C				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名 (模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	割れ目の形状	岩級区分	コア採取率 最大コア長 R Q D [%]	記	孔内水位/測定月日	標準貫入試験				原位置試験	室内試験	削孔状況	排水量 (L/min)							
														深度 - N 値 図	N 値	深さ	50回											
1	561.79	0.60	黒ぼく	黒褐					V	c	0.6~1.7m 岩級はDH級。	有機質な粘性土。落葉や角礫を混入する。			50	1.05	50	70			300	86	0	0	0	0	0	
2				灰褐	w4	h3	D	IV	c	D	0.6~1.7m 礫~岩片状。	1.1~1.7m 密着しているが亀裂が多く、やや脆い。ハンマー軽打でポロポロとなる。			50	1.12	70			44	86	275	225	2	0	0	0	0
3				?	w3	h3	C	IV	c			1.7m以深は潜在亀裂が多く、ハンマー軽打で礫~岩片状となる。一部短柱状。			50	2.00	50	50			44	86	250	225	0	0	0	0
4				石英斑岩	灰褐緑灰	w2	h2	D	III	b		1.7~2.6mはコア肌はやや粗い。2.6m以深はコア肌はやや滑らかとなる。								10	48			0	0	0	0	
5				?	淡桃灰	w3	h3	C	IV	c		5.1~5.4m付近は局部的に輝緑岩が捕獲されているのがみとめられる。								11	66	350	225	0	0	0	0	
6									b			短柱状~柱状コア主体。亀裂により部分的に岩片状を呈する。								8	25			0	0	0	0	
7	555.09	7.30		輝緑岩	暗緑	w2	h1	B	III	a	CM	岩片は非常に硬質で、ハンマーで金属音を発する。コア肌は滑らか。								17	30	400	225	0	0	0	0	
8	553.39	9.00																		18	30	300	275	0	0	0	0	

